

平成30年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	歴史的景観を保全・継承する京 ^{みやこ} の道づくり		
予 算 額	65, 000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	政策的新規充実予算
担 当 課	土木管理部 土木管理課(222－3568)		
[事業実施に至る経過・背景など]			
世界遺産をはじめとする寺社等の歴史的資産周辺の道路については、沿道の建物所有者はもとより、多くの市民・事業者との協働により、優れた歴史的景観が保全されているが、今後も地域との協働によりこうした景観を次世代に継承していくことが重要である。 そこで、歴史的資産の周辺において、規制や支援の充実、地域と協働した景観づくりを進める「歴史的景観の保全に関する景観政策の充実」の実施に併せて、これまで推進してきた無電柱化事業に加え、本事業により、歴史的景観を保全・継承し、訪れる人を魅了するだけでなく、地域の価値を高める道路となるよう整備を進める。			
[事業概要]			
本事業では、「歴史的景観の保全に関する景観政策の充実」として、規制や支援の充実等を進める通りのうち、本市が管理する道路において、道路の構造や利用状況に応じて、車道部や歩道部で周辺景観に配慮した舗装（石畳風アスファルト舗装やブロック舗装等）を実施する。また、横断防止柵、照明灯等の付属施設についても、老朽化等に伴う更新が必要な場合は、周辺の景観に調和したものに変更する。 平成30年度は、北野天満宮周辺の道路において整備を実施する。			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

平成30年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	安心・安全な東大路歩行空間創出事業		
予 算 額	298, 200千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	政策的新規充実予算 局配分枠
担 当 課	建設企画部 建設企画課(222－3551) 道路建設部 道路環境整備課(222－3570)		
〔事業実施に至る経過・背景など〕 多くの市民・来訪者が訪れる東大路通では、歩道の横断勾配及び幅員並びにバス待ち環境の改善が喫緊の課題となっている。そこで、こうした歩行環境の改善を行うとともに周辺道路の魅力を高めることで回遊性を向上させ、歩行者の分散を図ることに より、安心・安全な歩行空間を創出する。 平成29年度は、東大路通の歩道横断勾配の改善やバス待ち環境の改善に係る設計、歩道横断勾配の改善に係る工事及び電柱等の移設・集約を行った。 〔事業概要〕 平成30年度は、安心・安全な歩行空間を確保するために、引き続き、東大路通の歩道横断勾配の改善やバス待ち環境の改善に係る工事及び電柱等の移設・集約を行うとともに、周辺道路の魅力を高め回遊性を向上させるため新たに景観に配慮した舗装や照明灯の暖色化の整備を行う。 〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			

平成30年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	公園や駐車場のトイレの洋式化等受入環境の整備・充実		
予 算 額	298,500 千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	政策的新規充実予算
担 当 課	土木管理部 土木管理課(222-3568), 自転車政策推進室(222-3565), みどり政策推進室(741-8600)		
[事業実施に至る経過・背景など] 本市では、入洛客の大幅な増加により、まちを取り巻く環境が大きく変わる中、国際観光都市として、住む人にも訪れる人にも満足度の高いまちづくりを実現することが求められている。 このため、京都ならではの「おもてなし」で世界中の皆様をお迎えするとともに、市民の皆様のくらしの満足度を高めるため、特に観光客からのニーズが高いトイレの洋式化をはじめ、観光地周辺の受入環境の整備・充実を行う。 [事業概要] ○ 観光駐車場等及び観光地周辺の公園におけるトイレのリニューアル (202,000千円) 老朽化が進んでいる駐車場内及び公園のトイレについて、ブースや床の改修、洋便器化、手すりの設置等を行う。 (実施場所) 銀閣寺観光駐車場、御池駐車場、円山駐車場、円山公園、内野公園など ※ その他の観光駐車場である清水坂・嵐山・高雄観光駐車場については、平成28年度にリニューアル実施済。 ○ 観光地周辺におけるトイレ清掃の充実(16,500千円) トイレ清掃の頻度について、現在の2～3倍程度に増加する。 (実施場所) 清水坂観光駐車場、嵐山観光駐車場、銀閣寺観光駐車場、高雄観光駐車場、円山駐車場、御池駐車場、出町駐車場、宝が池公園、岩倉公園など ○ 観光地周辺における道路除草・清掃の充実(80,000千円) 世界遺産等周辺の歩道における、雑草の繁茂が著しい箇所の除草や落ち葉等の道路清掃の充実を行う。 (実施場所) 二条城、御所、嵐山、上賀茂神社、金閣寺、東寺、岡崎公園周辺など			
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]			

平成30年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト 災害防除(緊急輸送道路等に面する斜面の防災対策)		
予 算 額	474, 185千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	政策的新規充実予算 局配分枠
担 当 課	土木管理部 土木管理課(222－3568)		
[事業実施に至る経過・背景など] 京都市では、東日本大震災や近年多発する局地的集中豪雨等での被害を踏まえ、公共土木施設の防災機能を強化するため、「いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト」として、緊急輸送道路等に面する斜面の防災対策に取り組んでいる。 [事業概要] 平成30年度は、災害発生時の緊急輸送を円滑かつ確実にを行うため、緊急輸送道路等に面する斜面において、「道路のり面維持保全計画（平成29年2月策定）」に基づき、落石、斜面崩壊等の災害を未然に防止する対策工事を効果的、効率的に進める。 <u>平成30年度実施予定路線 17路線（一般国道162号など）</u>			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

平成30年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト 「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」の推進 (橋りょうの耐震補強・老朽化修繕)		
予 算 額	2,433,584 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	政策的新規充実予算
担 当 課	土木管理部 橋りょう健全推進課(222－3561) 道路建設部 道路建設課(222－3577)		
[事業実施に至る経過・背景など] 道路・橋りょうは、災害発生時の避難・救援、その後の復旧・支援活動の基本となるとともに、日常の社会経済活動を支える極めて重要な都市基盤施設であり、まさに『いのち』を守る要となる。 東日本大震災の被害状況から、災害時における避難ルート及び救援車両等の通行確保に向けた橋りょうの耐震補強のスピードアップが喫緊の課題となっているため、平成23年12月に、対策の優先順位を明確化した「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」を策定し、耐震補強と老朽化修繕を効果的・効率的に推進している。			
[事業概要] 平成30年度は、平成29年度から開始している「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」(第2期)に基づき、橋りょう健全化の取組を着実に推進していく。			
平成30年度実施箇所 耐震補強 9橋(御園橋、西国街道高架橋など) 老朽化修繕 2橋(賀茂大橋、常盤橋)			
[参 考(他都市の状況・事業効果など)] 第1期プログラム(平成24～28年度) 取組目標：耐震補強17橋、老朽化修繕34橋の対策完了 実 績：耐震補強15橋、老朽化修繕32橋の対策完了(平成29年12月末時点) 第2期プログラム(平成29～33年度) 取組目標：耐震補強17橋、老朽化修繕22橋			

平成30年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト 「普通河川整備プログラム」に基づく普通河川緊急 対策事業		
予 算 額	299, 000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	政策的新規充実予算
担 当 課	土木管理部 河川整備課(222－3591)		
[事業実施に至る経過・背景など] 京都市が管理する普通河川は、河川の抱える流域が狭く、降った雨が短時間で河川に流れ込む傾向にあるため、特に、短時間の局地的な集中豪雨（ゲリラ豪雨）によって増水する危険性があり、河川改修等による浸水対策の実施は喫緊の課題となっている。 このような中、多額の費用と時間を要する河川改修を計画的に進めるため、過去30年間に浸水被害が発生した河川のうち、まだ本格的な対策に着手できていない8つの河川を対象に治水安全度調査を行い、河川ごとの特性を踏まえた整備方針を盛り込んだ「普通河川整備プログラム」を平成25年10月に策定した。			
[事業概要] 「普通河川整備プログラム」に基づき、治水安全度の向上を図る工事や、河川改修等に向けた設計等を行う。 <u>平成30年度実施内容</u> <u>護岸改修工事等・・・竹田川、千代原川</u> <u>設計業務委託等・・・奥殿川</u>			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）] 対象河川のうち宇多川支川，荒木川及び谷田川については平成26年度に対策が完了している。			

平成30年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト 「河川維持保全基本計画」に基づく普通河川点検業務		
予 算 額	19,000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	政策的新規充実予算
担 当 課	土木管理部 河川整備課(222－3591)		
〔事業実施に至る経過・背景など〕 近年多発している局地的集中豪雨や台風の大雨などによる浸水被害を最小限にとどめるためには、河川が保有する治水能力の確保に資するしゅんせつ・除草等の日常的な維持管理が重要である。 〔事業概要〕 より効果的かつ効率的に河川の維持管理を行うため、平成28年3月に策定した「京都市河川維持保全基本計画」に基づき、本市が管理する322河川の点検を行うとともに、点検が完了した河川については、その結果を踏まえて、順次、河川維持保全実施計画を策定する。 (今後のスケジュール) ○ 平成29年度まで 市街化区域及び一部市街化調整区域を流れる河川の点検を完了(約100河川)。 ○ 平成30年度 約40河川の点検を行うとともに、平成29年度までに点検が完了した約100河川について、河川維持保全実施計画の策定を早期に実施する。 ○ 平成31年度以降 引き続き、未実施の山間部等を流れる河川について、点検を実施する。			
〔参 考 (他都市の状況・事業効果など) 〕			

平成30年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト 「排水機場長寿命化修繕計画」に基づく排水機場の老朽化修繕		
予 算 額	744, 200 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	政策的新規充実予算
担 当 課	土木管理部 河川整備課(222－3591)		
[事業実施に至る経過・背景など] 多くの河川や都市下水路の流末に位置する市南部地域は、勾配が緩やかで流末の宇治川や桂川との高低差が少なく、低湿地地帯が多いため、自然排水が困難で、大規模な降雨があった場合には、甚大な浸水被害を受けやすい。 このため、本市では、洪水時等に地域の浸水被害を防止するため、排水機場や樋門の建設を進めてきた。 これらの排水機場等の設備について、近年老朽化が著しく、整備が急務となってきたことから、平成27年度に今後40年間の「排水機場長寿命化修繕計画」を策定し、計画的に整備を行うことで予算の平準化及び機器の長寿命化を図っている。 [事業概要] 緊急修繕に加え、予防保全整備（ポンプ、原動機、除塵設備及びゲート設備等の分解整備・更新）により、計画的に排水機場、樋門等の施設の長寿命化を図る。 <u>平成30年度実施内容</u> <u>10排水機場、2樋門の予防保全整備や緊急修繕等</u>			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

平成30年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト 京北周山地域浸水対策		
予 算 額	53, 000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	政策的新規充実予算
担 当 課	土木管理部 河川整備課(222－3591)		
[事業実施に至る経過・背景など] 平成25年9月の台風18号及び平成26年8月豪雨に伴う大雨により、桂川と弓削川が合流する右京区京北周山地区の一部において浸水被害が発生している。 これは、桂川と弓削川が大雨によって増水したことで、両河川からの地区内水路への逆流や地区内水路の排水不良が発生したことが原因であり、これまで浸水対策の検討を行ってきた。 [事業概要] 大雨による桂川、弓削川からの逆流を防止する既設の周山樋門と寺田樋門に、常設の可搬型ポンプをそれぞれ設置する。 樋門と相互に機能するポンプ設置によって、樋門閉鎖時に地区内水路の雨水等を強制的に排水することが可能となり、周山地区の浸水被害の軽減を図る。			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

平成30年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	「文化芸術都市・京都」の新たな文化ゾーンの創出に寄与する「高瀬川再生プロジェクト」の推進		
予 算 額	8, 000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	政策的新規充実予算
担 当 課	土木管理部 河川整備課（222－3591）		
〔事業実施に至る経過・背景など〕 高瀬川は、江戸時代初期、京都の中心部と伏見を結ぶ物流用に角倉了以によって開削された運河であり、開削から大正9年までの約300年間、京都・伏見間の水運に用いられた。 平成22年度に高瀬川の始まりである一之舟入（二条木屋町下る）付近から石積み護岸の修繕等の改修工事を進めており、平成28年度末で四条通まで完了し、平成32年度には五条通まで完了する予定である。 五条通以南についても、引き続き改修が必要な状況であることに加え、「京都駅東南部エリア活性化方針」（平成29年3月策定）において、同エリアと京都市立芸術大学等移転予定地をつなぐ、高瀬川に対し、文化芸術を楽しむアート・プロムナードとしての整備が期待されている。 〔事業概要〕 五条通以南についても、魅力ある水辺空間など、五条通以北の上流と調和した改修手法を検討するとともに、京都駅東南部エリアにおいては、「京都駅東南部エリア活性化方針」を踏まえた創作活動にふさわしい環境の創出を図るため、基礎調査等を実施する。			
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			

平成30年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	明治150年・京都のキセキ・プロジェクト ～市民の偉業が生んだ奇跡, 歩んだ軌跡～ 明治産業遺産としての梅小路チンチン電車再生事業		
予 算 額	31, 500千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	政策的新規充実予算
担 当 課	みどり政策推進室(741－8600), 南部みどり管理事務所(643－5405)		
[事業実施に至る経過・背景など] 平成7年の運行開始から今日に至るまで市民に愛され続けている梅小路公園のチンチン電車であるが、その一番の魅力は日本最初の電車である京都市電の実際の車両を現在でも使用していることにある。 車両として100年以上の歴史を誇る当該車両は、明治時代に京都電気鉄道の車両として運行を開始し、大正時代に本市が京都電気鉄道を買収した以降も、京都市電の一車両として活躍した。その内装は明治ロマンを感じる木材を用いた温かみのあるデザインで、それは現在も変わっていない。また、明治時代に鉄道として運行していた頃は、本市が誇る明治の一大土木事業である琵琶湖疏水事業、それにより建設された日本初の事業用の水力発電所である蹴上発電所から実際に電力を受けて走行していた車両でもある。 梅小路チンチン電車は、単なる公園施設の1つではなく、京都が誇る明治文化を今に伝える明治産業遺産の動態保存物であり、長く後世にその動く姿を伝えていく必要がある。 [事業概要] 明治150年を迎える平成30年度は、当該車両の歴史的価値を改めて広く伝えるため、梅小路公園で企画展を実施するとともに、100年以上の歴史の中で老朽化や損耗が激しい部品（箇所）の調査・補修を行い、車両の再生を実施していく。			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

平成30年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	巽橋木製高欄再整備事業		
予 算 額	12, 000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	政策的新規充実予算
担 当 課	土木管理部 橋りょう健全推進課(222－3561)		
[事業実施に至る経過・背景など] 京都観光の中心地である祇園新橋地区に位置し、国内外から多くの観光客が訪れる京の名所「巽橋」については、高欄部分が老朽化している。			
[事業概要] 安全の確保や歴史的景観の保全に努めることで、市民の皆様や観光客等に京都の品格や魅力を実感していただくため、京都市内産材を用いて高欄の整備を行う。			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			